

ボローニャ大学留学月例報告(2023 年 9 月)

文化政策学部 国際文化学科 3 年 恒枝碧

【はじめに】

みなさんこんにちは、Buongiorno! 9 月からイタリアのボローニャへ留学しています、国際文化学科 3 年の恒枝碧です。イタリア北部の都市ボローニャでこれから 1 年間留学生活を送る予定です。この報告レポートを通してこちらの生活をお伝えできればと思います。

ボローニャに到着して早 1 か月が経とうとしていますが、毎日がとても楽しくて日々何かしらの発見や出会いで満ちています。今回の留学は私にとって初めての海外であり、イタリアの生活システムなど全くわからないところからスタートしました。到着後の 1 週間は滞在許可証やイタリアの納税者番号の取得、大学のチェックイン、語学学校のスタートなどバタバタしていましたが、滞在 1 か月弱になると少し落ち着いてきました。落ち着いてきたからこそ、自分がイタリアで暮らし、素晴らしい街並みを毎日見て、触れていることがいまだに信じられません。



写真:ボローニャの中心にあるサン・ペトロニオ聖堂

【私立語学学校】

大学の語学学校が 10 月から始まるため、それまで私立の語学学校に 2 週間通いました。朝の 9 時から 13 時まで開講され、11 時から 12 時前まではクラスメイトと一緒に近くの bar でコーヒーと軽食を取ります。クラスには私よりもはるかに上の世代の方も多く、バカンスを兼ねてイタリアに何週間か滞在し午前中は語学学校に通って午後には観光を楽しんでいる人が多かったです。50 代や 60 代になって「観光+勉強」で他国を訪れる心の余裕とその姿勢に感銘を受け、自分も将来そのような大人になりたいと強く思いました。私立の語学学校はすでに終わっていますが、仲良くなったクラスメイトとは連絡先を交換し、連絡を取り合っています。歴史地区の中に学校があり、エントランスから教室まで壁の彫刻たちが本当に素晴らしく素敵な時間を過ごせました。



【イタリア文化】

この 1 か月で私が感じたイタリアンカルチャーを少しご紹介します。ボローニャの道路事情はおもしろいです。広い駐車場が少ない街中では、車は路上に縦列駐車をします。スペースに限りがあるので極限まで詰めて停めるのですが、「絶対出られないだろ」と思うほど詰め詰めの縦列駐車が多々あります。歩行者は信号が赤でも車が来なければ普通に渡り、逆に車側も人が横断していても轢かないことが確認でき次第どんどん突っ込んでいきます。日本でやると事故が起きそうですが、お互い少しの注意は払っているのになぜか事故が起きる気がしないのが不思議です。

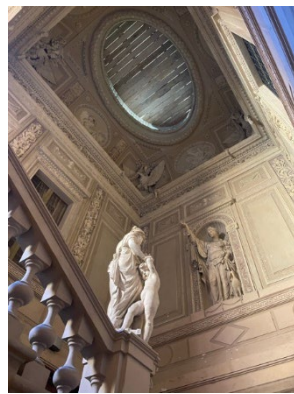
Bar 文化もイタリアならではのものです。Bar ではコーヒー系からお酒まで飲むことができます。少し歩けば bar があり、また少しあるけば bar があるというほど bar に満ちています。カウンターでの立ち飲みもでき、外のテーブルで飲むこともできます。フラッと寄って一杯飲んでサッと出ていくため、滞在時間はすごく短いですが、毎日行けば常連になって店主さんとも他の常連客とも仲良くなれる空間が bar の良さだと思います。私もいろいろな bar に行って bar の個性を楽しんでいます。近所の bar の店主さんとも友達になり、私を見つけたら声をかけてくれるようになりました。

【これから】

私のまわりにはイタリア語と英語を話す人が半分ずつおり、両方とも話せる人もいます。私自身イタリア語はもちろん、英語も全く流暢には話せませんが友達も何人かでき、イタリア語の勉強を手伝ってくれます。私のつたない語学力でも話を最後まで聞いてくれて理解しようとしてくれる友人たちにとっても感謝しています。今までは相手に話してもらうことが多かったのですが、これからは自分から話す姿勢を心がけてまた新しい世界を広げていきたいです。



ボローニャの中心の広場は夜にライトアップされます。街はポルティコと呼ばれる回廊が続いてとても美しいです。



語学学校のエントランスを入ると階段の装飾が素晴らしかったです。



←ヴェネツィアへ行ってきました。小さな路地が多く、かわいい橋もたくさんあり、広場の聖堂は圧巻でした。歩くだけでわくわくする街です。